



主題：「響き合い、ともに歩む」 “Walk Together, Echoing Each Other”



枝垂桜・四天王寺

— ころろ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでいく —
— Promote the Y's movement thoughtfully and hand down the Y's spirit —

2月27日(金)から3月1日(日)までの3日間、タイ国バンコックで開催されたアジア地域会議に出席しました。東西日本区を含む6つの区から、各区における活動報告がなされるとともに、次期国際会長ウィッチャン Wichian BOONMAPAJORN(タイ)さん、次期アジア地域会長エドワード Edward ONG(シンガポール)さんから、活動方針と人事の報告がなされました。審議上での大きな論点は財政上の緊迫化にどう対応するかでしたが、運用上の工夫をすることで当面凌いでゆくとの結論になりました。その後の雑談の場も含めて、みなさんの強い興味を呼んだ話題は、YMCAのない国や地域にYMCAをつくってゆけるようワイズの新クラブ造りを進める、YMCAを支援することにワイズ力を強く注ぐ、というものでした。

3月7日(土)～8日(日)、ホテル新大阪コンファレンスセンター(旧チサンホテル新大阪)で「次期会長・主査研修会」を開催しました。この研修会でも、講師のお話しやその後に開かれた部ごと、事業ごとのミーティングを通じて、会長・事業主査としての心構えや活動の基本・原点を確認できる有意義な学習をするとともに、休憩時間などにおける声掛けや夕食会で交わされる語り合いを通じて旧交を温め、新しい友を得る豊かな交流の機会も得て頂けたと思います。昨年10月開催の次期役員研修会と同様、この次期会長・主査研修会も、西日本区の年間行事のなかでのビッグイベントであり、クラブ役員や部役員などとしてぼちぼちクラブや部の運営の核心を構成しているであろう若手ワイズたちがLD委員となってクラブ運営や部運営も兼ねながらお世話して下さいます。彼らの働きに大いに感謝する次第です。

3月22日(日)、在日本韓国YMCAで開催された日本YMCA同盟主催の「YMCA地球市民育成プロジェクト2014 報告会・第5期生認証式」に出席しました。このプロジェクトは、国境を越えて起きる課題に取り組める若者を育てるための通算5年目となるYMCA事業であって、グローバル時代を迎える若者たちが、自分の中から分析力、対話力、行動力を引き出してくる体験をさせるカリキュラム構成を採っているとのこと。この「YMCA地球市民育成プロジェクト」では、テーマごとのワークショップやディスカッションがあるほか、それぞれのテーマに沿った活動を展開しているNGOや地域の取り組みに参加するフィールドワークなどもあり、この参加により学んだこと、興味を持ったこと、自分のやりたいと思ったことについてアクションプランを立て実行した(実行する)ことを纏めて報告する機会も与えられます。第5期となる今期の「YMCA地球市民育成プロジェクト」には日本人ユースとアジア地域からのユースが42名参加しました。彼らの活動報告から、このプロジェクトが、参加した若者たちに、自らの課題を捉え、その課題解決のためにどのように行動するかを求め、このことを通じて若者たちに広く大きな視野を得させる有意義なプログラムであることを知りました。このプロジェクトには、東西日本区とも協賛しています。

西日本区理事 松本 武彦



4月の強調月間 YMCAサービス

『ワイズは、YMCA スタッフ、ユースと手を取り合って、共に活動し、共に成長しましょう。』

今期主任と言う役を通して、YMCA サービス・ユース支援について西日本区をまわりながら考えてきました。すべての部に行けたわけではないですが、各部、各クラブの取り組まれている事業の素晴らしさを感じ、また、必要とされる事に取り組まれているクラブの姿がそこにはありました。それは、私の思いが詰まった強調月間の言葉そのものでした。私は、ユースリーダーの出身で現在ワイズ歴8年目ですが、YMCA 歴は13年になりました。私から見てYMCA（スタッフ）とユースの関係は、活動を共にし、一緒にいる時間を共有している分強い絆で繋がっていると思います。しかし、ワイズとの関係はどうでしょう。同じような強い繋がりはありますか？私は、あると思います。あると信じます。ワイズは、同じ思いを持ってYMCA やユースと共に活動しています。その中心には、青少年の未来（育成）を願って活動しているのではないのでしょうか。

私はユースリーダー時代に、全国 YMCA リーダー研修会に参加した時、ユースリーダー同士で悩みや YMCA 活動の問題に対して考える事が多々ありました。その研修会の中心には子ども達の為に、子ども達の成長を願っている私がいいて、周りのユースリーダーも同じ思いでした。ユースリーダー達が子ども達の未来を願うように、ワイズはユース支援を通して若者の未来を願っています。その願いこそが、YMCA の誕生するきっかけとなった、青少年の育成であり、YMCA に関わる者の使命なのではないのでしょうか？ユースやスタッフと共に活動・交流し、ユースを応援（支援）していきましょう。そして、応援されたユースがワイズに入り次の応援者になるような仕組みが出来る事を願っています。

YMCA サービス・ユース主任 藤本義隆 （阿蘇クラブ）

今月の聖句

心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、わたしをも信じなさい。
わたしの父の家には住む所がたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる。

（ヨハネによる福音書 14章 1-3節）

聖句黙想

今年の復活祭は4月5日です。春、いのちに感謝するお祝いの日です。聖句はキリストが誰にも理解されないまま、死の直前に語った言葉です。無残な死の向こう側に何かがあるのか、ご自分も神に問いながら絶命しました。福音書は時系列の物語ではありません。死の向こう側からイエスが持ちかえった世界を教会の信仰内容として伝えていきますので、読む者は戸惑います。ただ生も死も超えた「イエスと共にある祝宴がある」「あなたの居場所は用意されている」と復活のキリストは語りかけます。どんな所なのでしょう。

西日本区チャプレン 江見 淑子

◇ 周年記念例会情報（2015年1月30日現在）

- | | | | |
|---------|------|--------------------------------|-------------------------|
| ・京都トップス | 20周年 | 2015年4月5日(日) | ウエスティン都ホテル京都 |
| ・東広島 | 20周年 | 2015年4月25日(土)
[日程が変更になりました] | 広島YMCA国際・文化ホール |
| ・京都エイブル | 25周年 | 2015年5月16日(土) | 京都ホテルオークラ |
| ・岡山 | 50周年 | 2015年5月23日(土) | 岡山国際交流センター（13:00-17:00） |

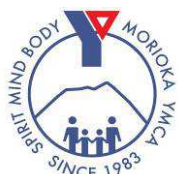
◇「YMCA東山荘 100 年募金」にご協力ください

YMCA東山荘は、100年の歴史の中で国内外の多くの指導者を育んできました。世界文化遺産となった富士山の眺望に恵まれた、日本のYMCAが誇る国際青少年センターです。グローバルな視点を持った人材育成と国際会議をおこなう最適なセンターとして、国内外のYMCA、学校や青少年団体、教会、YMCA地球市民育成プロジェクトなど、多くの若者が育ったという実績があります。東山荘の新たな時代が、世界の若者にとって魅力あるものになるために、皆様の“思い”と“力”を結集し、YMCA東山荘のリニューアルを行います。



今回の募金は 2017 年 3 月完成となる新本館建築に用い、また、2025 年を目標に、東山荘全館(1・2 号館を含む)のリニューアルを目指します。なにとぞこの趣旨をご理解いただき、「YMCA東山荘 100 年募金」にご賛同、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

公益財団法人日本YMCA同盟



盛岡YMCA宮古ボランティアセンター移転のご案内

このたび、盛岡YMCAの石渡隆司理事長・濱塚有史総主事から、「宮古ボランティアセンター」移転の案内がありましたので、西日本区のみなさまにお知らせ致します。

宮古ボランティアセンターは、今年 5 月末をもって敷地の土地使用契約が終了するため、昨年末から移転準備を進めてきました。幸い、下記のとおり、宮古駅から徒歩 20 分の事務所兼作業所を賃借することができるようになり、5 月初旬の引っ越しを予定しているとのことであります。

転居先：〒027-0066 宮古市田の神 1-2-32

電話連絡先：080-6010-5478（変更なし）

盛岡YMCAは、2021年までの10年間、被災地復興支援活動を継続し、この活動を通して下記3つの価値を宮古の子どもたち・家族・地域に伝えていきたい、とのことであります。

- ① 他者の悲しみを自分のことのように悲しめること。
- ② 他者の喜びを自分のことのように喜ぶこと。
- ③ 自分のしてほしいことを他者にもしてあげられるようになること。

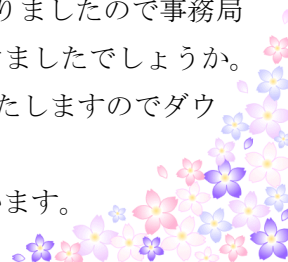
西日本区は、今期も宮古ボランティアセンターの活動を引き続き支援します。

東日本大震災支援金(西日本区目標額 200 万円)の必達にご協力をお願い致します。

国際からのお知らせ



Isaac Palathinkal 国際会長より会長通信(英文)が参りましたので事務局より配信させていただきましたが、お受け取りいただけましたでしょうか。もし、まだの方は西日本区ホームページへのアップをいたしますのでダウンロードしていただき、ご覧ください。尚、近日中に部分訳を配信させていただく予定にしています。



◇第 18 回西日本区大会西日本区理事杯 チャリティーゴルフコンペのご案内

開催日：2015 年 6 月 12 日（金） 開催コース：池田カンツリー倶楽部
〒563-0021 大阪府池田市畑 3-1-1 (tel: 072-751-6801 / fax: 072-752-0029)

コースへの交通アクセス

車：最寄りランプ 阪神高速 池田線 川西小花ランプ

最寄り駅：阪急宝塚線 池田駅 クラブバス有

電車などで来られる方：最寄り駅その他からの同乗などご相談承ります。



スタート時間 衣懸(きぬがけ)コース 9:52 / 綾羽(あやは)コース 9:52

各 4 組 合計 8 組(32 名) 予定 (定員になり次第締め切らせていただきます)

◎東日本大震災支援のチャリティーコンペとして開催いたします。

◎常用カート セルフプレイ

◎参加登録 登録費 3,000 円は大会登録の口座にお振込み下さい。

◎当日のプレー費、食事(約 1 万 4 千円)他、個人的費用はゴルフ場でお支払いください。

◎表彰式は「前夜祭」会場の宴席で行います。(優勝・準優勝・西日本区理事賞ほか)

◎競技方法詳細などは参加申し込みの方にご連絡させていただきます。

お問い合わせ 工藤義正(大阪土佐堀) メール：ys-kudo@m4.kcn.ne.jp 携帯：090-8792-6600

◇第 18 回西日本区大会「メモリアルアワー」追悼原稿・遺影ご提出のお願い

対象者 2014 年 4 月以降に逝去された西日本区のメンおよびメネットで、第 17 回西日本区大会(岩国市)において追悼の時を持たなかった方

提出物 ①**追悼原稿**：別紙原稿用紙のとおり、お 1 人 1 2 0 字程度(所属クラブ名・ご尊名・召天年月日・享年・ワイズ暦・YMCA 歴・その他)

②**ご遺影**：デジタルデータを原則としますが、紙焼き写真でも可。

デジタルデータの場合は幅 800 ピクセル×高さ 600 ピクセル以上でお願いいたします。

提出期限 2015 年 4 月 30 日(木) 必着

ご提出が遅れる場合は、必ずメールまたは FAX にてご連絡ください。

期限(4 月 30 日)以降のご逝去については、まず訃報を下記送付先(西日本区事務局にも CC で)にご一報願います。

送付先 2014~2015 年度 **西日本区理事事務局**

理事事務局長 石津 雅人 宛

E-mail osaka@m-ishizu.com

FAX 06-6643-5135

※郵送の場合 〒556-0016 大阪市浪速区元町 2-5-27-303

石津 雅人 宛



西日本区大会の第 1 次登録申込は 3 月 31 日で終了しましたが、第 2 次登録申込は 4 月 1 日～5 月 15 日となっています。大会登録費は 22,000 円となりますが、宜しくお願いいたします。

【第 18 回西日本区大会の登録は <http://jw2015.com/> から出来ます。】